



校内弁論大会を開催しました ～テーマ 社会を明るくするために～



【各学年代表の6名の弁士】

6月5日(月)に、「社会を明るくするために」というテーマで校内弁論大会を行いました。警報発令により日程を3日延期したにも関わらず、坂出地区保護司会綾川支部の保護司の皆様8名の方のご臨席を賜り、今年度は、体育館に一堂に会して実施することができました。

弁論大会を開催するにあたり、5月上旬に生徒全員が原稿を作成し、学級弁論大会、学年団弁論大会を経てこの日に至りました。代表生徒は各学年から選ばれた計6名。6名の弁士には、それぞれに思いをもち、そして熱く真剣に自分の主張を訴える立派な態度が見られました。さすが各学年の代表と思わせる弁論でした。各弁士の弁論の要旨は以下の通りです。

- 名前や外見、行動様式だけで人を判断する今の世の中を変えていきたい。 2年女子
- 人それぞれに生きていく価値があり、何人もそれを侵害されるものではない。 2年女子
- 心のヘルプマークを発信している人に気付き、助けられる人でありたい。 3年女子
- 当たり前だと思っていた家族の存在に感謝し、今度は自分が恩返しをしたい。 1年女子
- 自分のこと以上に人のことの気遣いができる祖父に学び、自分もそうになりたい。 1年男子
- 祖父から学んだ笑顔の尊さを他の人に伝え、明るい未来づくりを目指したい。 3年女子

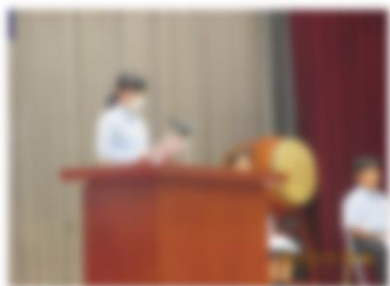
どの主張からも、私たちのごくありふれた日常を見直す新たな視点が示されました。また、当たり前すぎて見過ごしていたことにも改めて気付かされました。このような熱いメッセージに引き込まれたのか、フロアの子どもたちの話を聞く態度も実に見事で、各弁論の後には、弁士に対する惜しみない拍手が体育館内に響き渡り、代表の弁士たちもこれまでの苦勞が報われたと感じたことでしょう。

さて、校内弁論大会の開会にあたり、全校生に向けて集団生活を送る上で大切にしてほしい次の5つの力を伝えました。

- ① 「感じる力」……他人の言動に心揺れ動かされたり共感したりする力
- ② 「想像する力」…相手の言動の背景や気持ち等を慮る力
- ③ 「考える力」……自分ならどうするだろうなどとその立場に立ってみる力
- ④ 「表現する力」…頭の中で考えたことを、書き言葉や話し言葉で明確にする力
- ⑤ 「実践する力」…考えたことや表現したことを実際に行動に移す力

これらの力は、今回の弁論大会を聞いて身に付けるというよりも、日頃の学校生活や家庭・地域での生活において少しずつ身に付けていくべき力だと考えます。

「素晴らしい弁論だった」という感想に終始せず、日頃の学校生活等を通して、自分の考え方がよい方向に変化したり成長したりしているという実感を味わえるような他者を思いやった思慮深い言動ができる子どもたちに育ててほしいと願っています。



【熱弁を振るう弁士】



【弁論に聞き入るフロアの生徒】



【保護司会の方より記念品の贈呈】